

特集

図書館に行こう



図書館は、新聞・雑誌・コミックなど気軽に読める本もたくさんそろえています。ここには心を彩る本との出会い、甘楽町ならではの人と人をつなぐ温かな出会いもあります。たくさんの本があなたをお待ちしています。

■ 問い合わせ 甘楽町図書館 ☎70-4660

蔵書数：6万6218冊、電子図書館：1万5842コンテンツ【5月末現在】

新作続々入荷中です！



本の魅力を伝えたい

館長 茂木伸二



「あなたのおすすめの本を一冊あげてください」と言われたら、どのような本をあげますか。私は、迷わず【一つの花】をあげると思います。この物語は、教科書にも採用されているのでご存じの方も多いと思います。戦争の激しい時代、幼いゆみ子の口癖は「二つちょうだい」でした。ゆみ子の父親が出征する日、父を見送るために母と遠くの駅まで出かけて行くゆみ子。「おじぎり、一つちょうだい」ゆみ子は父のカバンの中に、この日のためにと貴重なお米で作ったおにぎりが入っていることを知っていました。ゆみ子はその大切なおにぎりを駅に着くまでに全て食べてしまいます。

父は周りを見渡し、駅頭に咲いていた一輪のコスモスを摘んでゆみ子に渡します。「大切にすると、んだよ」と一つの花を手渡すと、父は出征していきました。それから10年。元気に成長したゆみ子の家はたくさんのコスモスの花に包まれています。しかし、そこに父の姿はありません…。私は、館長になる前、38年間教員をしていました。この【一つの花】を子どもたちと学習するたびに、戦争のむなしさや悲しさ、親子の愛の深さに胸を強く締め付けられたのを今でも思い出します。あなたの心を揺さぶる、素晴らしい本が図書館にはあふれています。ぜひ、お気に入りの一冊を探しに図書館にお出かけください。

甘楽町ならではの連携

にここ甘楽の「子育て支援センター」には『ぶちっら・ら・かんら』、「地域包括支援センター」には『オレンジ文庫』の本棚があります。1～2カ月に一度人気の本や新刊の見直しを行い、絵本やガイドブックなどの実用書、認知症や介護を楽しく学べる本を置いています。司書が出張して、子育て支援センターでは絵本の読み聞かせ、地域包括支援センターでは本を紹介するブックトークを行っています。



◀絵本の読み聞かせ  
▼ブックトーク



小中学校との協力コラボ

図書館では、町内4小中学校図書主任合同連絡会議を行い情報交換をしています。電子図書館導入の際は、児童書の選定を各学校に協力いただきました。

図書館と電子図書館、町内小中学校の蔵書が「カーリル」というシステムでつながっていて、調べ学習などの際には「〇〇に行けば◇◇の本が読める！」の検索を簡単に行うことができます。

このほか、小学2年生の生活科授業ではコミュニティ施設を含む館内見学や本の貸出体験、司書による読み聞かせを行っています。



本の専門家  
司書にご相談ください

ら・ら・かんら内にある甘楽町図書館には、司書3人がいます。司書とは「本を貸し出す仕事をする人」というイメージが強いかもしれませんが、皆さんが気軽に立ち寄れる図書館を目指し、さまざまな相談に応じてサポートできるような日々新しい知識を取り入れています。「新しく出版された本を読みたい」「〇〇の古い歴史を調べたいけど、いい資料はあるかな」「レポートってどう書いたらいいんだろう」など、お気軽にご相談ください。図書館は幅広いジャンルの図書や記録を収集・保存しており、利用者のニーズに合わせた本や情報との出会いのお手伝いをしています。

ちょっとした「スキマ時間」に楽しむ



英語のえほん、コミック、レシピやアウトドアなど！世界各国の雑誌約4,000種が読み放題！！

学びの機会をお手伝いします



図書館の魅力ポイントは、利用者さんが読みたい本に幅広くお応えする新刊本の購入です。あなたのリクエストをお待ちしています。

町の図書館にない資料は県内各館からの取り寄せや国立国会図書館を利用した調べものにも対応します。お気軽にお声掛けください。

